



発行：NPO法人みのお山麓保全委員会 平成28年(2016年)夏号

山麓保全ファンドに助成申請して、新しい活動にチャレンジしませんか！

公益信託「みのお山麓保全ファンド」は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り・育て・活かすために、山林所有者や市民の活動を資金面から応援(助成)する仕組みです。

箕面の山麓では、たくさんの団体や山林所有者が、さまざまな活動を行っています。下のような内容を対象に活動を募集しています。活動の相談など、お気軽にNPO山麓委員会(事務局)までご連絡ください。

◆申請受付期間

8月1日(月)～8月31日(水)

◆助成金額

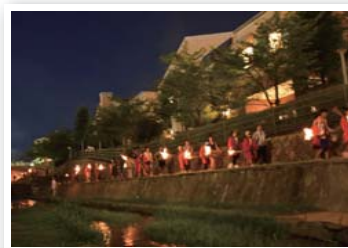
○一般助成・・・1件当たり25万円以内

◆対象となる事業期間：

平成28年4月1日～平成29年3月31日

◆助成の流れ

受付(8/1～31)⇒運営委員会助成決定(9月下旬)⇒(10月中旬)



里山の管理

下草刈り、ツル切り
除・間伐など

山道の手入れ

補修・枝払いなど

山の幸づくり

木材・炭・キノコなどの
生産・加工など

里山の自然保護

生態調査・整理・報告など

山麓の学習・調査・研究

植生調査・
学習の場の提供など

山林防災・保安 利用モラル向上

不法・迷惑行為防止
ルールづくりなど

里山文化の育成

伝統行事・展示会など

里山とのふれあい

ハイキング・観察会・講演会
・音楽会など

人材育成

研修・養成講座の開催など

山林の管理・活用

境界確認など

交流事業

発表会・交流会の開催など

資金確保

啓発や募金活動など

【平成28年(2016年)2月期「一般助成」の実績】

☆市民団体などによる活動を助成

件数 14 件、金額 1,949,000 円

☆山林所有者(自然緑地等指定同意書提出者)による活動を助成

件数 63 件、金額 6,180,300 円

＊山林整備サポート

【ボランティアによる山の手入れ】要請件数 32 件

里山の環境変化と採取などにより減少した箕面市の花「ササユリ」



昭和44年、箕面市のシンボルとして、市の木には「イロハモミジ」、市の花には「ササユリ」が市民の投票により制定されました。

このササユリ、昭和40年代くらいまで、薪炭林や下草の利用などで人の手が加わり、多様な生態系が保たれていた里山では、普通に見られた植物でした。今では、市の花であるササユリは、ほとんど姿を消しています。

落ち葉による堆肥が化学肥料に変わり、薪や炭によるエネルギーが石油やガスに変わるなど、経済的な価値の低下やライフスタイルの変化により里山に人の手が入らなくなり、里山の自然環境が変化しました。

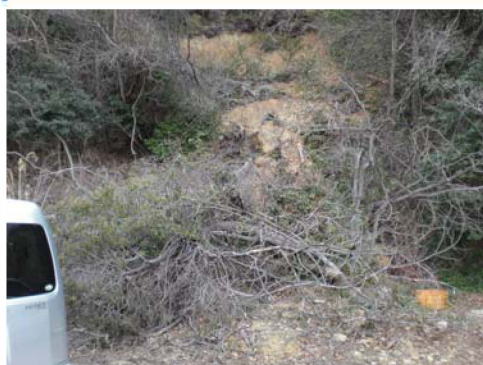
このような自然に対する働きかけの縮小も、里山の生物多様性を損なう原因になりましたが、一方で、人間活動が自然に与える影響は多大了。

箕面では「山なみ景観保全地区」の指定や山麓部の保全活動、みどりのまちづくり政策により、開発による自然環境の悪化には、一定の歯止めがかかっていますが、鑑賞や園芸目的のための採取は絶えず、その影響は多大了。

里山の環境変化により個体数が減っているササユリに、さらに、人による球根の盗掘や地上部の採取などの負荷がかかっており、このまま放置しておくと、市の花であるササユリは絶滅してしまう恐れがあります。

市の花であるササユリ、里山の豊かな生態系のシンボルであるササユリを次の世代に残していくために、調査や採取防止・監視・保護管理のための市民や行政などによる取り組みが必要になっているといえるでしょう。

「協働」の取り組みで進める山麓保全活動



増えすぎたシカによる食害やナラ枯れ被害による自然災害のリスク

近年、大阪府でも集中豪雨(1時間降水量50mm以上)の発生頻度が増加しており、土砂災害などの自然災害の発生リスクが増大しています。

一方で、増えすぎたニホンジカの食害による森林の下層植生の劣化による土壌流出の恐れや、ナラ枯れ被害によりコナラなどドングリのなる樹の大木が枯れてハイキング道や近隣住宅への危険木になっているなど森林が持つ公益的で多面的な機能の低下が危惧されています。私たちのくらしにも直接影響しかねないリスクが増大しています。

←左は、山なみ景観保全地区(箕面2丁目)民有地斜面の土砂崩れ

「協働」の取り組みで進める山間・山麓部の保全活動



シカ害から植生を守る保護柵の設置



ナラ枯れ枯死木に粘着シートを貼付

森はつながっていることから、国・府・市などの行政区分や民有林などの所有区分に関わらず、シカの食害やナラ枯れ対策などの課題が発生しています。行政や山林所有者、市民など立場の違う主体が、情報の交換や意見交換を行いながら、同じ目標をめざして、「協働」で取り組むことが大切です。行政にしかできない役割、市民ができる役割、山林所有者の役割があり、立場の違う主体による「顔あわせ」「心あわせ」「力あわせ」が大切です。

新たな税を財源とした山麓保全活動の継続



みんなで守ろう！箕面の里山

2004年度に箕面市が2億円を信託して始まった公益信託「山麓保全ファンド」の残高は、2015年度末には約6百万円となり、資金が枯渇しました。

市では、貴重な財産である良好な自然環境や住環境をはじめとする都市環境を将来にわたって守り、その魅力を向上させるために、2016年7月から「開発事業等緑化負担税」を導入することになりました。

(開発行為などを行う事業者を対象に課税し、年間約3000万円の税収見込)

税収は、市が行う森林整備、市街地緑化、農地保全に関する事業や山林所有者・市民による里山保全活動への助成などに活用されます。

新たな税が財源となり、公益信託を活用した山麓保全活動が継続されることになりました。



昨年まで、かやの中央で行っていた山とみどりの市民イベント、地下鉄延伸工事で「かやの広場」が使えなくなったこともあり、新たにNPO山麓委員会が箕面市から事業を受託して、箕面公園内瀧安寺前広場をメイン会場として、箕面駅前ステージから箕面公園にかけての各所で行います。家族で楽しめる自然工作などの体験フェアや音楽イベントなどに加えて森のフィールドを活かしたミニツアーなど、楽しい企画を準備中です。駅前ステージでは、まちのみどりをテーマとした企画も予定しています。生物多様性などの研究フォーラムは、11月3日（祝）に、阪急箕面駅前の箕面文化・交流センター（サンプラザ1号館）で行う予定です。
←写真はイメージです（瀧安寺前広場）

みのお森の学校 ～人と自然の入門講座～

受講生募集中!

美しい箕面の森をフィールドに、学ぶ、活かす、楽しむ、育てる、守る…。みのお森の学校は、講義（午前）と楽しい実習（午後）で、箕面の森の守りびとを育てる入門講座です。身近な箕面の森をフィールドに、人と自然との関わりを広く学べることから、毎年、受講生は定員を超える人気の講座になっています。
★開催日：平成28年9月18日（日）～平成29年6月18日（日）（全10回）オプション2回
★受講料：12,000円 ※交通費・オプション料金は別途必要
★定員：20名（受付順）
★開催時間：午前10時～12時、午後1時～3時ごろ
★場所：講義は主に箕面文化・交流センター（箕面駅前）、実習は主に箕面の森
※詳しくは、第12回みのお森の学校のチラシをご覧ください。



森で実習の様子

箕面の山麓部、誰が所有しているか ご存じですか？



医王岩

白島の山麓部にある高さ25mの3層に重なった巨岩。土地や生産を司る農耕神、大己貴・少彦名の二神が生まれた地とも言われています。昔から神々が宿る依代（よりしろ）として、神聖視されてきました。

市街地から眺める山麓部（約380ヘクタール）は、箕面国定公園に近いために、市や府などが持つ公有地と思われがちですが、実際は約8割が民有地（私有地）であり、300人以上の地権者が所有しています。

みどり豊かな山麓部は、箕面のシンボルとして多くの市民に親しまれており、多くの市民が山麓部のみどりの保全を望んでいます。

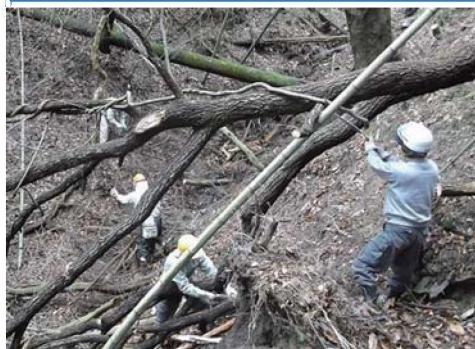
一方で、昔から育て、守ってきたのは山林所有者の皆さんです。かつては、薪や炭などの燃料や用材、堆肥としての落ち葉の利用など、共同で維持管理をしながら山と生活が密着していました。今ではその必要性が減り、管理のために人が入ることも少なくなりました。

人が入ることの少なくなってきた山林では、従来あった里山の植生が変わり常緑樹が繁茂する暗い森となり、ササユリを見かけることも少なくなりました。

山林の育成管理に必要な作業には多くの費用や労力がかかるために山林所有者だけで、維持することが困難になっています。

箕面の山の保全を山林所有者だけに負わせるのではなく、市民、行政を含めた多様な主体が「協働」で取り組むことが大切です。

山林所有者の“悩み”相談会を行います



山林整備ボランティアの派遣
高齢化などで、山に行くことのできない山林所有者に代わって、山の手入れを手伝うボランティアを派遣しています。

「山なみ景観保全地区」の山林を対象に、山林所有者の“悩み”が少しでも解決できるようにお手伝いをします。

山林所有者がかかえるたくさんの“悩み”

○相続により山林を受け継いだ、自分の山がどこにあるか分からない
○高齢になったので、山に行けない、○山の手入れができない、○勝手にゴミを捨てられるので困っている、○シカやイノシシが多くて困っている
○大雨が降ると、土砂崩れがおきないか心配、○山の価値がなくなったので山を売りたい、寄付したいけどどうした良いかわからない・・・など

★日時：8月12日（金）・13日（土） 午前10時～12時まで
★場所：みのおサンプラザ1号館2階（箕面駅前）打ち合わせブース
★人数：各10名（申込順）
※相談会にご参加の方は、事前に予約の連絡をお願いします。

「箕面の森の守びと」になりませんか？

公益信託「みのお山麓保全ファンド」は、箕面の山の緑を守り育て活かすことを目的として、山林所有者や市民による山麓保全活動を資金面から応援(助成)する仕組みです。

箕面市では、新たに緑化負担税の導入など、財源確保に努めていますが、このような税だけでなく、多くの市民や企業・団体の皆さまのご支援・ご協力が必要となっています。

毎年 1,000 円以上寄付をしていただける「箕面の森の守びと」(みのお山麓保全ファンドサポート会員)を募集しています。

また、箕面市の「ふるさと寄附金」(山麓保全)をご利用の場合は、2,000 円を超える部分については、確定申告により税控除の対象となります。5,000 円以上のご寄付で、下記のような「謝礼品」を希望することができます。



寄附額 5,000 円以上
①限定！ゆずるグッズ



寄附額 10,000 円以上
②箕面を丸かじり！特産品セット
③箕面ビールセット
④箕面のこだわりスイーツセット
⑤いつでも一緒！ゆずるぬいぐるみ
⑥オレンジゆずるバス回数券



寄附額 50,000 円以上
⑦箕面ビールセレクション



ご寄付を頂いた方には、会員シールの他、情報誌「山なみ通信」などをお送りさせていただきます。

☆加入方法はお近くに郵便局でお振り込みください

(口座番号)00960-5-318170(加入者名)みのお山麓ファンド

※詳しくは、ホームページ「山なみネット」、または「箕面の森の守びとになりませんか！」のパンフをご参照ください。

公益信託「みのお山麓保全ファンド」募金実績

期間2016年1月～6月5日

△「箕面の森の守びと」	会員個人の募金	・・・	¥50,000
△企業からの募金	阪急電鉄・阪急阪神 未来のゆめ・まちづくり 外	・・・	¥162,062
△市民団体からの募金	箕面の森の音楽会・だんだんクラブ・その他	・・・	¥40,512
△募金支援 自動販売機	箕面ネイチャールーム・1-j y oスポーツ・大阪観光	・・・	¥41,442
△ゆずるの足湯募金	箕面滝道ふれあい広場(大阪観光)	・・・	¥51,133
△募金箱・その他募金箱	インターネット募金(GIVE ONE)	・・・	¥31,466
△箕面市の「ふるさと寄附金」による「箕面の森の守びと」	会員個人の募金	・・・	¥172,000
合計			¥548,615

箕面ビジターセンターのホームページがリニューアルしました！

明治の森箕面国定公園の自然や生き物の画像や情報などが満載です。

箕面ビジターセンター



<http://www.yama-nami.net/minoh-visitor/>

QRコード



検索: minoh-visitor

NPO 法人みのお山麓保全委員会は、5月29日に第15回定期総会を開き、2015年度事業報告決算報告、2016年事業計画・活動予算、定款の一部変更議案が承認されました。及び下記の役員が選任されました。

理事: 稲井信也、角山年昭、鹿島幸子、中瀬重幸、成瀬英夫、村上竜太、近藤万里、松木亮、宮武みゆき、中川弘佳 (以上再任)、藤田哲彦 (新任)

監事: 山内一浩(再任) 顧問: 越田恒人(再任)

※本多孝さん、竹田光廣さんは退任されることになりました。

代表理事: 稲井信也、副代表理事: 角山年昭、鹿島幸子、成瀬英夫、事務局長: 高島文明(以上、再任)

NPO 法人みのお山麓保全委員会

〒562-0001 箕面市箕面 6-3-1 みのおサンプラザ 1 号館 2 階 211 号室

TEL&FAX 072-724-3615 携帯電話 090-1133-3615

メール yama-nami@yama-nami.net

ホームページ www.yama-nami.net (検索: 山なみネット)

箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

